

茶の湯文化講座

『茶の湯のリーダー 小堀遠州の手紙』

寛永期の京都は茶の湯が盛んでした。宮廷においては後水尾天皇を中心にした貴顕や町人たちがこぞって茶を楽しみました。京都南部に位置する伏見は宇治、奈良、大阪へも至近の地であり、寛永期に伏見に居住した小堀遠州は当時の茶の湯のリーダーでした。

そんな遠州の活躍をうかがうことのできる手紙を読み解きましょう。



ウィキペディア掲載写真より

●日 時 令和8年3月1日（日）

午後1時30分～3時

●場 所 研修道場 安吾館

●講 師 増田 孝 氏（愛知東邦大学客員教授）

●定 員 28名（先着順）

●受講料 1,500円

1名につき2名分まで申込み可

●申込み ・村民先行予約

1月16日（金）午前10時から
窓口・電話にて予約受付

・一般予約

1月23日（金）午前10時から
碧南市電子申請届出システムまたは
窓口・電話にて予約受付
受講料は窓口支払・オンライン決済
または送付する納付書にて払込

※電話予約の場合は10日以内にお支払いください。

※お支払いいただいた受講料はキャンセルされた場合でも払い戻しはできません。



『開運！なんでも鑑定団』でおなじみの増田先生



無我苑ホームページ



碧南市電子申請届出システム
お申込みフォームのQRコードはこちら